

金融市場NOW

転職者数増加 300万人の大台回復

労働市場の構造変化が進行

- 2016年の労働力調査（詳細集計）によると、転職者数は前年より8万人増加して306万人となった。
- 正規社員への転職の増加とともに、管理職等のニーズの高まりから中年層が存在感を増している。
- 転職市場の活性化による所得の増加は、個人消費を刺激することも期待される。

総務省が2月17日に発表した2016年の労働力調査（詳細集計）によると、転職者数は前年より8万人増えて306万人となりました。2009年の320万人以来の高い水準であり、リーマンショック前のピークである346万人に向けて着実に回復が進んでいます。

1990年代以降、パートや派遣などの雇用期間が不安定で離職率の高い非正規雇用の割合が上昇したことに伴い、転職市場も拡大しました。しかし、近年では『転職は非正規が中心』という常識も崩れてきているようです。また、転職者数に占める35歳以下の若年層の割合がこの10年間で低下が続く一方で、大きく存在感を増しているのが中年層です（図表1）。2016年調査をみると45～54歳の転職者数は50万人と、統計を遡ることができる2002年以降では最多を記録しました。3年で10万人増えていますが、そのテンポが速まっているのは、ベテランの管理職や専門性の高い人材の需要が強まっていることが背景にあるようです。

転職市場の需給が引き締まりつつあることを映し、転職後に年収が元の職場を上回るケースも増加してきました。厚生労働省の調査によると、転職で元の職場より賃金が増えた人は2015年に初めて減った人を逆転しました（図表2）。

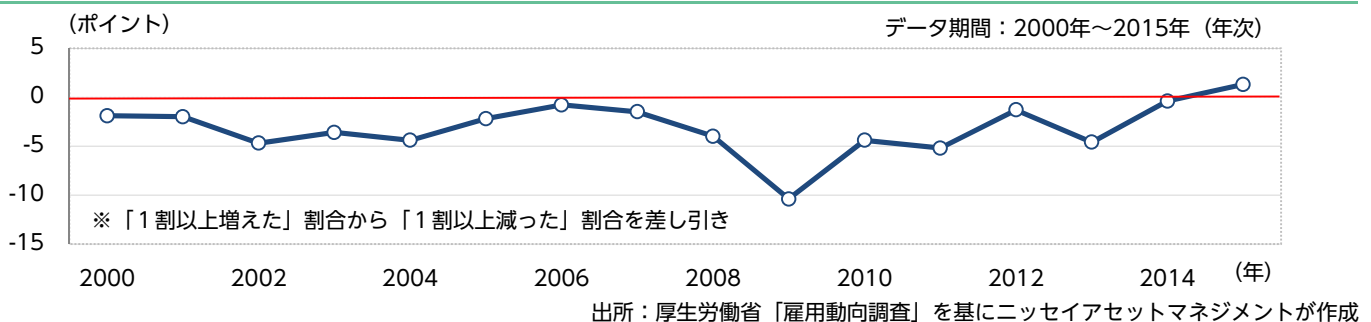
転職市場の活性化により家計の所得が増加すれば、個人消費を刺激することも期待できそうです。また、中年層を含む雇用の流動化により、生産性の高い業種や企業に人材が流れることで、日本経済の潜在力を押し上げるきっかけになるという見方もあるようです。

図表1：管理職や専門性の高い人材を求める動きから45歳以上の中高年層の転職が活発になっている



出所：総務省「労働力調査」を基にニッセイアセットマネジメントが作成 ※転職者の年齢別構成

図表2：2015年に初めて転職により賃金が増加した人が減った人を上回る



●当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。●当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料のグラフ・数値等はあくまでも過去の実績であり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。●投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。●手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品をお勧めするものではないので、表示することができません。●当資料のいかなる内容も将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。

商号等：ニッセイアセットマネジメント株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第369号
 加入協会：一般社団法人投資信託協会 一般社団法人日本投資顧問業協会